

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ふくいの家

グループの名称

ふくいの家の会

直近採択グループ番号

06-0405-0365

(グループ代表者)

代表者名

南 信博

代表者印

代表者所属先

有限会社ミナミ工務店

代表者所在地

福井県坂井市三国町石丸第28号19番地乙

代表者電話番号

0776-78-4488

(グループ事務局)

事務局事業者名

一般社団法人福井県建築組合連合会

事務局担当者名

竹島 正和

印

事務局郵便番号

910-0859

事務局所在地

福井県福井市日之出5丁目4番7号

事務局電話番号

0776-54-0018

事務局FAX

0776-54-2759

事務局担当者E-mail

fukuinoienokai@yahoo.co.jp

| | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------|-----------------|----------------|----------------|---|
| B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須) | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 6 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 6 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 4 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 4 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 6 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 4 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 2 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | 高度省エネ型 | 認定低炭素住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | 認定低炭素住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 2 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 1 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限125万円) | | 0 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円) | | 0 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限140万円) | | 1 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円) | | 0 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 0 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 0 | 戸 | | | | |
| C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積 | 優良建築物の申請棟数 | | 今年度要望する棟数及び面積 | | 0 | 棟 | | | |
| | | | | 0 | m ² | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積 | | 0 | 棟 | | | | |
| | | | | 0 | m ² | | | | |
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須) | 契約顧客の信頼を損なわないために、工務店が迅速に新築計画の確定をして、「ふくいの家の会」事務局への申請確定及び提出の順とする。 | | | | | | | | |
| E. 平成29年度の執行状況 (必須) | 長寿命型(長期優良住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 6 | 戸 | 交付申請戸数 | 5 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1 | 戸 |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1 | 戸 |
| | 高度省エネ型(性能向上計画認定住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) | | | | | | | | | |
| 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 | |
| 優良建築物型 | | | | | | | | | |
| 採択棟数 | 0 | 棟 | 交付申請戸数 | 0 | 棟 | 完了実績(竣工予定含む)棟数 | 0 | 戸 | |
| 採択床面積 | 0 | m ² | 交付申請床面積 | 0 | m ² | 完了実績(竣工予定含む)床面積 | 0 | m ² | |

| | | |
|---------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) ふくいの家 | (地域型住宅供給対象地域) 福井県内全域 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) ふくいの家の会 | (結成年) 2012 年 |
| 3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須) | 06-0405-0365 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

| 【平成30年度対応方針】 | ◎、○ 記入欄 | |
|--|---|---|
| ①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 福井県の気候は、夏は高温多湿で、冬は積雪寒冷地である。その為、夏は各部屋の見通しを良くし、出来るだけ廊下を少なくし、部屋間を風が抜ける開放的な間取りを採光・通風シミュレーションをもとに検討する。構造材に関しても、地元の厳しい環境で育った杉材を、積極的に使用していく。 | ◎ |
| ②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 福井県内でも、積雪量に関しては様々である。豪雪地域では基礎立上りを高くし、雪の落し場を考えた配置を検討する。反対に、海に近い所では風の考慮が必要。風当たる方向を十分考慮して、屋根の向きや建物の形を考えた設計が必要。以上の点を踏まえ、その地域に根付いた形や様式で施工する。 | ◎ |
| ③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | 福井県の中でも、その地域によって風の方向や強さ、日当たりの時間等が違う。「温故知新」と言う言葉が有るように、その地域に昔から建つ家をヒントにして、屋根の形や流れ、窓の大きさや配置を考慮したデザインとする。 | ◎ |
| ④①～③の背景 | 福井県は、海岸部、平野部、山間部があり、気候は複雑、垂直積雪量は、海岸部の1mから山間部の3mまであり、降雪は湿ったド力雪型で豪雪の災害も経験している。日照時間は短く、平野部の気候は、夏は高温多湿、冬は低温多湿、山岳部の冬は寒冷・多雪である。海岸部では海風が強く、冬の雪は少ないが寒さが厳しい。 | ◎ |
| ⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 基本的に骨太住宅として、中でも通り柱は120mm以上の物を使う。また構造材には、強度的にも優れている雪国で育った県産材もしくは合法木材を積極的に使い、2次部材においても80%の使用率とする。 | ◎ |

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

| 【平成30年度対応方針】 | ◎、○ 記入欄 | |
|---|---|---|
| a | | |
| ①-1 用材の寸法規格化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 所属する「福井県建築組合連合会」を通じて、県や木材組合連合会との連携を密にし、スパン表に基づく構造材の寸法規格化を進める。 | ○ |
| ①-2 使用建材の統一 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材に関しても、各種仕様をルール化を進め、下地に関しても標準化を進める。 | ○ |
| ①-3 標準仕様の設定 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メンバーの知識や技術の標準化を図る為、研修会を随時開催する。「ふくいの家」に住む家族の体験談や感想を収集し、「ふくいの家」の標準仕様を改良・開発していく。 | ○ |
| ②-1 建材・資材調達共同化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 「福井県建築組合連合会」と協力して使用する県産材のサイズを統一出来るよう働きかけを行い、部位ごとの出荷量に、ばらつきをなくす。 | ○ |
| ②-2 調達事務の合理化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 所属する福井県建築組合連合会が、「ふくいの家の会」の事務局になっている為、連合会の事務局を通じて材料の調達を行う。 | ○ |
| ③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 検討委員会を開き、実績の有る会員を中心にして意見を出してもらい、反省点や良かった点などを話し合う。話し合った結果、実施できる内容であれば順次採用していく。 | ○ |
| ④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員に向けた情報共有を促すため、情報をこまめに発信し、各会員から意見が出やすいグループを目指す。 | ○ |
| b | | |
| ① グループの信頼性向上に向けた施工基準 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「ふくいの家の会」施工の心得8カ条を掲げる。 | ◎ |
| ② グループの信頼性向上に向けた検査ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工、施工者、事務局のチェック欄のあるシートを作り、チェック後提出。会員が行う会員の為の竣工検査を実施し、施工との引渡の前に、会員同士が意見交換を行う。 | ◎ |
| ③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積り項目を具体的に記入し見積り記載事項を具体的に分かりやすく記入する。「一式」記入をしない。契約工事範囲と仕様、数量を明確にして、施工に提示する。 | ◎ |
| ④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「ふくいの家」の基本事項を掲げる。施工の信頼を得られるように会員全員に周知徹底していく。 | ◎ |
| c | | |
| ① 週休2日制の導入の取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 今後も週休2日制導入の検討を推進する。 | ○ |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建築技能士等の資格取得においては、(一社)福井県建築組合連合会で指導を行うことができる。 | ○ |
| ③ 社会保険への加入 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 個人事業者から法人へ移行した場合には、社会保険への移行の手続きを指導している。 | ○ |
| ④ 安全及び健康の確保のための取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全については、建設業労働災害防止協会などの講習会で資格取得を推進、健康については、年に1度の健康診断の推進を行っている。 | ○ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 設計段階、施工段階、完成後の3つの段階について1つの品質管理シート(QCシート)を作成品質にばらつきやミスがないように管理し、保存する。 | ◎ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) ふくいの家 | (地域型住宅供給対象地域) 福井県内全域 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) ふくいの家の会 | (結成年) 2012 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0405-0365 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

| 【平成30年度対応方針】 | | | ◎、○ 記入欄 | |
|---|---|---|--|---|
| a | ① 住宅履歴情報の蓄積 | ①-1 内容・蓄積の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「ふくいの家の会」ではパソコン管理が困難な構成員の為に履歴管理ソフトを導入。 | ○ |
| | | ①-2 情報サービス機関の活用 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報管理システム機関が幾つか有るので、その活用方法も視野に入れていく。 | ○ |
| | | ①-3 履歴情報蓄積の確認手法 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施主への維持管理情報(QCシート)の提供、QCシート記載の定期点検リストにより、施工会社の維持管理体制及び1・2・5・10年の無償点検を実施し、会がサポートする。 | ○ |
| | ② メンテナンス基準 | ②-1 点検の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 引き渡し後30年間の維持管理計画を作成し、施主の希望に基づき1・2・5・10年の無料点検を実施する。 | ◎ |
| | | ②-2 補修の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 点検項目をQCシートに明記し、点検の有無を記載する。 | ◎ |
| | | ②-3 点検補修実施の確認手法 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工又は監理している工務店に対して、事前に点検の時期を通知及び確認をする。 | ○ |
| | ③ 住まいの管理 | ③-1 住まい管理勉強会の実施 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造及び完成見学会の場所で、当グループの家の管理方法について説明する。 | ○ |
| | | ③-2 DIY体験会等の実施 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 端材を用い、簡単な木工体験の講習会を実施する。 | ◎ |
| | | ③-3 その他の相談会等の実施 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: (一社)福井県建築組合連合会主催の行事に参加し、相談会・体験会等を行う。 | ◎ |
| | ④ 維持管理委員会等の設置 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 提出された維持管理計画を基に、実績がある構成員を主に専門委員会を設置する。 | ○ | |
| ⑤ その他の維持管理の手法 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施主の自主的な維持管理を支援するために必要なパンフレットを配布する。 | ○ | | |
| b | ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員の中で廃業などにより、保守点検が困難な状況が生じた場合、会が中心となり施主へのサポートを継続する。 | ○ | |
| | ② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 保険会社から講師を派遣してもらい、過去の事例等を交えた内容の勉強会の実施。 | ○ | |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | 住宅履歴ソフトとQCシートを活用して、履歴管理を行っていく。 | ◎ | |

エ. グループの技術力の向上

| 【平成30年度対応方針】 | | | ◎、○ 記入欄 |
|---|---------------------------|--|-----------------------------|
| a | ① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 採択を受けた物件に対し、現場構造内覧会を義務化し、施工技術者による勉強会等を実施する。 | ◎ |
| | ②-1 品質管理のための共通ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 会員による、会員の為の見学会を実施する。 | ◎ |
| | ②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 上記見学会に参加される会員が、事務局に届け出する。 | ◎ |
| | ③-1 需給計画の策定 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各年度終了時に、各種の価格、数量、納期を構成員より提供してもらう。 | ○ |
| | ③-2 技術力向上のための中長期的な計画 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会、講習会の計画を立て実施することとする。 | ◎ |
| | ④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各構成員に取引業者の情報を提供してもらい、建築に関連する業種の価格と納期等の共有を図る。 | ◎ |
| | b | ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 | 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 10 |
| ①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 | | 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 10 | ◎ |
| ② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 | | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネが義務化になると言う情報を構成員に発信し、今の現状を理解して頂き、講習会への参加を促す。 | ◎ |
| c | ① 新たな技術等の導入 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新商品、新技術情報などのアンテナを張り巡らし、講習会等に積極的に参加する。 | ○ |
| | ② 新たな技術等の開発 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 県と連携し、実証実験等の研修会に積極的に参加する。 | ◎ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | 伝統的手法による仕口、軸組を始め各職種の生産技術を一般公開し、技術継承の意識を高める。(一社)福井県建築組合連合会が実施する「大工棟梁講座」「墨付け教室」への会員技術者の参加。伝統的軸組工法の勉強会の開催。地元職人の地域に伝わる技術を継承した技で施工する。 | ◎ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---|-------------------------------------|--|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須) | <small>(地域型住宅の名称)</small> ふくいの家 | <small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福井県内全域 |
| 2. グループの名称・結成年月 (必須) | <small>(グループの名称)</small> ふくいの家の会 | <small>(結成年)</small> 2012 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須) | 06-0405-0365 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み | | |
| キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。 | | |
| <p>認定低炭素住宅の特徴</p> <p>① 指定省エネ地域よりも、ワンランク上の地域性能を目指す。</p> <p>② 「認定低炭素住宅」選択的8項目の内、最低3項目を選択する。</p> <p>性能向上計画認定住宅の特徴</p> <p>① 建築物省エネ法に規定する、エネルギー消費性能に掛かる誘導基準を満たす。</p> <p>② 建築物省エネ法に規定する、熱性能基準を満たす。</p> <p>ゼロエネルギー住宅</p> <p>① 福井県は冬の日射量が少ない為、出来るだけ建物の断熱性能を上げ、太陽光エネルギーの負担を軽減する。</p> <p>② 街並みを乱さない様、屋根の形、太陽光パネルの配置を考慮する。</p> <p>優良建築物型</p> <p>① 福井県内には多数の原発が存在しています。だからこそ将来のエネルギー供給の流れを考え、高性能な省エネ住宅を考慮する。</p> <p>② 太陽光パネルを設置すれば、直ちにゼロエネルギーになる仕様の住宅を考慮する。</p> | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。